

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和4年3月1日

事業所名 緑ヶ丘発達支援センターひかり 保護者等数(児童数) 12名 回収数10名 割合 83%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	0	0	0		活動に合わせ、事業所内スペースを活用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	1	・コロナで参観日等がなく、実際に活動の様子を知ることができない。	保育士2名の配置で基準以上の配置となっています。午前中は放課後等の児童指導員も1~3名療育支援を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	0	0	・毎日のノートに自分で準備等している様子を書いていただいている。 ・本人に分かりやすい構造なのかと思う。	活動エリアを視覚化し、スケジュールや絵カード、視覚支援ツールを活用し分かりやすい工夫を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	0		感染症予防の為、定時換気・消毒を行っています。車両も使用後は換気・消毒を行っています。児童帰宅後は、全ての場所を清掃・消毒しています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	10	0	0	0		支援計画は定期的に見直しし課題やニーズを分析しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	1		保護者にわかりやすく説明していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	0		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	10	0	0	0		個別活動では、季節の制作活動や行事など変化のある活動を行っています。体幹を鍛える活動にも取り組んでいます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	4	・コロナ禍の為、いいえと回答。	今後検討していきたいと思っています。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	9	0	0	1		保護者への説明に不足がないように、分かりやすく説明していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	3	3	1	3	・褒め方や促し方等、どのようにしているか教えて欲しい。	以前は行っていました。最近実施していないので検討していきます。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	0	0	0	共通理解の為、今後も連絡帳でのやり取りの継続と面談の時間も確保していきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	2	定期的な面談を継続していきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	0	0	2	保護者茶話会を年3～4回実施していますが、参加できていない保護者もいますので開催日など工夫していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	0	0	1	苦情解決の体制はあり、迅速・適切な対応と丁寧な説明を心がけていきたいと思えます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	0	0	0	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	0	0	1	2ヶ月に1回広報作成し配布しています。事業所玄関にて毎月の活動風景を掲示しています。また毎月の利用希望表にて行事をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を発行しています。昨年度より自己評価を楽晴会ホームページにて公表しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8	0	0	2	契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	0	0	2
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	0	0	3	火災・地震・不審者対応想定訓練と避難行動学習を定期的に行っています。日によって参加出来ていない児童もあり、実施日を検討していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9	0	1	0	・とても楽しみにしている。 ・お友達がいないから嫌だと思っている。 引き続き子どもたちが楽しめる療育ができるよう努力します。
	23	事業所の支援に満足しているか	10	0	0	0	・毎日の活動の様子を分かりやすくノートに記入されており助かっている。 日々研鑽しより良い支援ができるよう努力していきます。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。